

K. I.（英語英文学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

周りの友人が長期留学に行ったり、カナダの大学に在籍していたりして、私も半年以上の留学を大学生の間にしたいと思っていました。また、英語力の向上や、自立した生活を送り、自分の視野をもっと広げたいと思ったからです。

② 留学決定から出発までの準備期間

日常会話の音声を聞いたり、単語の勉強をしたりしていました。クレジットカードを持っていなかったの、クレジットカードを作りました。

③ 現地到着後

ホストファミリーが空港まで迎えに来てくれました。空港からホストファミリーの家まで 30 分程度でした。オリエンテーションではクラスの発表や学校の建物の案内などがありました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

語学学校の専門の建物があったわけではなく、クラスごとにバラバラの建物でした。どの先生もやさしくて、わからないことがあればわかるまで教えてくださいました。

◆ 授業内容、課題、試験

授業内容はクラスによって違いましたが、主にライティング、リーディング、スピーキング、イディオムのクラスなどがありました。課題は毎日それぞれのクラスごとにありました。試験は月に一回あって、パソコンで試験を受けました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

毎週木曜日にある language exchange に参加していました。日本の文化が好きで、日本語を学びたいカナダ人と、日本人留学生が交流するもので、英語力の向上に役立ちました。また、IEP（英語集中プログラム）のアクティビティにも積極的に参加していました。

⑥ 現地での住まいについて

私のホストファミリーはフィリピン人でマザーとファザー、ルームメイトが 3 人いました。家にはバスルームが 3 つもあり、6 人いても不自由することはありませんでした。食事内容は、アジア系のものが出ることがたくさんありました。家から学校までが結構遠かったので、バスで 40 分ぐらいかかりました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

私は長期休暇を使って、バンフに 2 回、ニューヨーク、イエローナイフ、バンクーバーに行きました。カナダの大自然もアメリカの大都会も体験することができて、いい経験になりました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

ルームメイトと家で映画を見たり、家の周りを散歩したり、英語でいろんなことを話していたのがとても楽しかったです。スペイン、イタリア、ベトナムからの留学生だったので、いろんな文化を知ることができました。また現地でできた学校の友達とカフェ巡りをしたり、一緒にジムに行ったり、何気ない日常が楽しかったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

現地に着いたときに大きいほうのスーツケースのタイヤ（キャスター）が 1 個なくなっていた上に、バキバキに割れていました。また、ニューヨークに旅行に行ったときには、ロストバゲージしました。混乱しているうえに、空港の人やホストファミリーに英語で伝えるのがとても苦勞しました。

③ 文化・習慣などの違いで驚いたこと

お風呂に入る回数や、食事をする時間が違うことにとても驚きました。また、ホストファミリーはクリスチャンだったので毎週日曜日は必ず教会に行っていました。

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコン、日本のくすり、コロコロ(掃除するもの)、タコ足配線、タコ足(洗濯物を干すもの)、防寒具

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

リスニング力がとても伸びました。TOEIC のスコアが 100 点ぐらい上がりました。また、スピーキングの力も伸びたと感じています。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は決して楽しいことばかりではないと思いますが、得るものはたくさんあると思います。自分から行動することが何よりも大切なことだと思います。

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

英語を使った職業につきたいと考えています。また、日本との食文化の違いにとても驚いたので、食品関係の企業にいきたいと思うきっかけになりました。

V. 写真



これは、ルームメイトと公園でピクニックした時の写真です。左から、私、ベトナム人、スペイン人、イタリア人です。私以外高校生でしたが、みんな英語が上手でした。帰国しても時々連絡を取っています。



language exchange で仲良くなった方の家でバンドを組んで、毎週土曜日に練習していました。初心者の人がいれば、とてもうまい人もいて、カラオケなどしながら毎週とても楽しい時間でした。

E. N.（英語英文学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は高校 1 年生の時に 1 か月ほどアメリカに留学したことがあり、英語はもちろんのこと、その国の文化などたくさんのことを学べたうえ、なによりとても楽しかったので、大学ではもっと長期で留学がしたいと望んでいました。もう一つの理由として、私は大学生活で特に頑張っている、熱中しているものがなく、このままだと何も成長しないまま終わってしまうと思ったので留学に行くことに決めました。

② 留学決定から出発までの準備期間

TOEIC の単語を覚えたり、洋画を見たりして、英語に慣れるように努力しました。ケータイの SIM カードの設定や eTA の申請などをしました。

③ 現地到着後

空港に着くと、ホストファミリーが名前のカードを持って待っていてくれました。空港から家までは車で 1 時間弱くらいでした。夜に着いたということもあり、とても寒く、雪が積もっていたのを覚えています。到着の次の日に、ホストマザーが家から大学までどのように行くかを教えてくれ、そのあと大学にも行き、教室などを案内してくれました。そのおかげでオリエンテーションの日、迷わず大学まで行けました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

マニトバ大学はとても広いうえ、地下ですべてつながっていて、道を覚えるのが大変でした。しかし、寒い中、外に出ないでも移動できるため便利だと思います。私たちが使っていた教室には窓がなかったので太陽の光がなく、景色が見れないのは残念だなと思いました。

◆ 授業内容、課題、試験

Writing、Reading、Speaking、Pronunciation、Idiom の授業がありました。クラスは多くても 20 人くらいだったので、ディスカッションの時間が多くあり、日本人以外の方とも話せる機会があるのでよかったと思います。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

週に 3 日は授業が午前だけなので、午後からスポーツをする日やアクティビティをする日がありました。アイスホッケーを見に行ったり、動物園や海に行ったりなど、自分たちだけでは行けないようなさまざまな所に連れていってくれました。

⑥ 現地ででの住まいについて

ホストファミリーはマザー、ファザーとシスターが 2 人の 4 人でした。シスターは 14 歳と 25 歳だったので、色々なことをしてくれました。一緒に映画を観に行ったり、お菓子を作ってくれたりなどし、年齢が近いので友達のような感覚でした。家にはよく人が遊びに来て、ご飯を一緒に食べたりすることが多くありました。私の隣の部屋は空いていたので、2

週間ブラジル人の家族が住んだりし、色々な人が来る家でした。大学まではバスで 20 分くらいで、家からバス停までは歩いて 15 分くらいかかりました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

長期休暇は 2 回ありました。1 回目は友達と一緒にカナダのトロントに行きました。トロントの街並みを観光したり、ナイアガラの滝に行ったりし、満足した旅行でした。2 回目の休暇はニューヨークへ行きました。自由の女神やブルックリンなどたくさんの有名な観光名所に行き、ブロードウェイミュージカルも観ました。1 週間ほど行きましたが毎日朝から夜まで動き回り、とても充実した旅行になりました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

大学以外の時間は自由だったので、友達とさまざまな場所へ遊びに行くのがとても楽しかったです。ショッピングモールやカフェ、友達の家にもよく行きました。日本にいるとなかなかできない、ゆっくりとのんびりした生活を送れました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

到着時には経験したことのないような寒さで大変で、その生活に慣れるのにも時間がかかりました。5 月、6 月くらいまでは寒かったので、体調管理にも気をつけました。しかし、1 度だけ体調を崩したことがありました。ホストマザーがとても心配してくれましたが、自分の体調を英語で伝えるのがとても難しく、困らせてしまったと思います。体調が悪い時には弱気になるので、ホームシックにもなり、精神的にもつらかったです。

③ 文化・習慣などの違いで驚いたこと

バスが時間通りに来ないのには困りました。特に雪の時期は遅れていたり、来なかったりすることもありました。日本ではないことなのでとても困りました。また、現地の人は寒さに慣れているのか薄着の方が多く驚きました。夏になっても日本ほど気温は上がりませんが、ホストファミリーは暑いと言っていたので暑さには弱いのだと思います。その上、夏はとても短く、心地よい気候で過ごせる時期は限られているので、ご飯を外で食べたり、バーベキューをしたりなど夏はできるだけ外に出て楽しんでいました。

III. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

洗濯ネットは持っていったほうが良いと思います。基本的に自分で洗濯をすると思うのですが、日本の洗濯機や洗剤とは違うので洗濯ネットに入れても服が傷んでしまったので、それがないと困ると思います。ホストファミリーによるとと思いますが、私は食事があまり口に合わなかったのであとから日本食を送ってもらいました。渡航時に持っていくと荷物が増えるので送ってもらうのもいいと思います。ポケットティッシュとウェットティッシュ

もいっぱい持っていき、役立ちました。パソコンは月報や課題で使うことがあるので、持っていったほうが良いと思います。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

英語を話すことに抵抗がなくなりました。留学前半ではホストファミリーや先生と英語で話す時に緊張していましたが、たとえ英語が間違っていたとしても優しく教えてくれたり、伝えようとしていることを理解しようとしてくれるので、留学後半では抵抗なく英語が話せるようになりました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学に行く前はたくさんの不安と楽しみに思う気持ちがあると思います。私もどんな授業なのか、ホストファミリーとうまく生活していけるのかなどいろいろ心配はありましたが、大学の授業も楽しかったですし、カナダでの生活も不安に思う必要はありませんでした。留学中本当に色々なことが起きると思いますが、せっかくの機会なので、何があっても自分が成長するためだと楽しむ事が大切だと思います。留学中、つらいこともありましたが、思い返してみると楽しかった思い出の方がたくさん出てくるので、時間を無駄にしないように全力で楽しめばいいと思います。

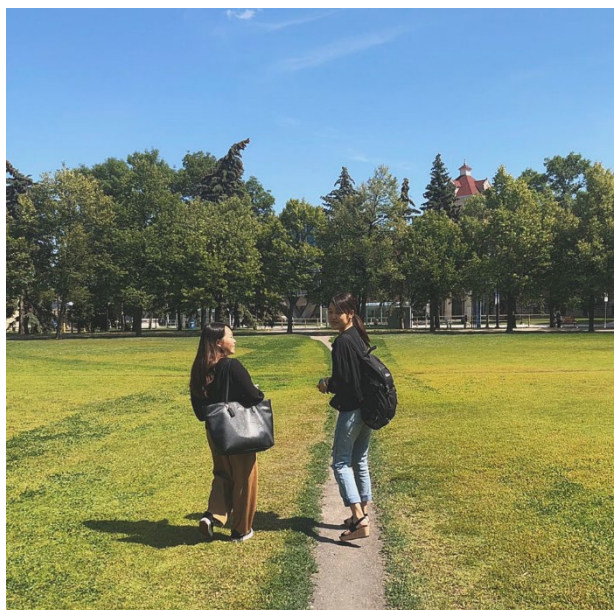
IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

卒業までに TOEIC の目標点数に達するように勉強を頑張りたいと思います。留学中は日常生活の中で英語を学べましたが、帰国後は自分から勉強しないと成長できないので留学中よりも気合を入れて勉強しないといけないと思います。将来就きたい職業などはまだ決まっていませんが、留学を通して学べたことを無駄にしないように活用していきたいと思っています。広い視野をもって、自分の将来についてこれから考えていきたいと思っています。

V. 写真

これは大学の校庭です。夏になると過ごしやすい気候で緑も豊かで、ここを通るのが好きでした。私たちは通るだけでしたが、学生さんがここでランチを食べていることもありました。たまにリスやウサギなどもいて、日本では見られないので貴重な体験でした。すてきなキャンパスでよかったです。



M. N.（英語英文学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

高校生の頃から英語を使った職業に就きたいと考えていたこともあり、大学入学前から留学することは決めていました。しかしどのような留学制度があるのかよく知らなかったので 1 年生の春に何度か国際課にお話を聞きに行き、約半年の期間といった私の理想の制度が見つかったのでこのセメスター語学留学を目指すようになりました。

② 留学決定から出発までの準備期間

高校生の時行った 1 か月間の語学研修での反省として単語力不足があったので、行くまでに私は 2000 単語覚えるという目標を立てました。また準備面ではカナダでインターネットを使えるようにポケット Wi-Fi を用意しました。

③ 現地到着後

空港に着いたらホストファミリーが迎えてくれました。学校初日はホストファミリーが車で大学まで送ってくれて、次の日からのバスでの移動方法も同時に教えてくれました。初日のオリエンテーションは日本人も多かったので不安はあまりなかったです。

④ 語学機関

◆ 施設・環境・スタッフ

とても大きく自然豊かな開放感のある大学でした。勉強スペースや図書館、またカフェなどもたくさんありました。困っている時は必ず助けてくれる優しい先生やスタッフがいて、楽しく学校生活を送ることができました。

◆ 授業内容、課題、試験

クラスはレベルごとに分けられていて、2 か月ごとの試験(授業点も入る)でレベルアップすることができます。最初のクラスは出発前に受験するプレイスメントテストで決められます。1 クラス 20 人ほどで先生と一対一で話す機会もよくありました。課題は 1 回に出される量は少ないですが、ほとんど毎日あってそれを継続することが大変でした。試験は必ず授業で習ったことがでるので、授業内容を復習していれば点数を取ることができました。

⑤ クラブ、課外活動、試験

放課後はアクティビティがありました。ホッケーを見に行ったりみんなでスポーツをしたり、他のクラスの友達を作るきっかけの場所となりました。また私は language exchange という日本人留学生と日本に興味のある外国人が集まる会に何度か参加しました。英語でも会話するので、英語が上達し他国の文化を知ることができ、良い経験になりました。

⑥ 現地での住まいについて

ホームステイ先は父、母、娘、息子の 4 人家族でした。子どもさんたちは 23 歳くらいでよく私の面倒を見てくれました。マザーがほとんどご飯を作ってくれて、夜も時間のあ

るときは2人でお話をする時間を作ってくれました。食事はほとんどがカナダ料理で、朝はシリアル、昼はサンドウィッチ、夜はチキンなどの肉料理とスープが多かったです。映画が好きな家族だったので、休日の夜は必ず映画鑑賞をしました。それで少しリスニング力が養われたような気がします。自分の部屋は地下にあり、バスルームは家に2つあり地下の方は自分しか使わなかったのが好きな時間に利用することができました。洗濯機は共用ですが、私のホームステイ先は使用時間や使用回数を決められていなかったのが自由に使うことができました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

2か月ごとに10日間ほどの休みがありました。私は1回目はトロント旅行、2回目の休暇ではニューヨークに旅行しました。日本から行くより遥かに近いので安く簡単に行くことができました。今までに行ったことのない場所に行けて、異文化に触れ、英語のみで旅行する大変さに気づき自分にとってとても良い貴重な経験になりました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

留学に行って最も良かったと思えた点は、異文化交流ができたことです。例えば韓国人の友達と国の文化の違いについてや、韓国人から見た日本の印象について話したり、ホストファミリーとの生活で日本との違いをたくさん感じられました。日本では触れられない貴重な異文化交流となりました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

カナダに着いてから数日間は苦勞しました。まず、ホストファミリーに家のことについて聞かなければならないし、大学まではバスで行くのでどのバスに乗るのか不安になりながら登校したりと、日本人一人で行動する時が一番不安でした。自分から話すことが苦手な私は、まずホストファミリーに質問するということから苦勞しました。

③ 文化・習慣の違いで驚いたこと

日本の家族よりも家庭の時間を大事にしているように感じました。日本では仕事の上ご飯の時間がバラバラになることも多いですが、カナダではほぼ毎日全員で夕食を取り、その後もみんなで時間を過ごすことが多かったように思えます。色々な方から話を聞いていると、仕事も日本と比べると早く終わるそうで家族との時間を大切にする素敵な文化だと感じました。

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコン、電子辞書、ウェットティッシュ、防寒着

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

リスニング力は確実に上がりました。またカナダの授業では自分の意見を言わなければ

いけないことがよくあったので、質問に対して自分の意見をまとめ発言する力がついたと思います。

③ これから留学をしようと思っている方へのアドバイス

留学をして損なことは絶対ありません。もちろんしんどいこと辛いことも多かったです。が、それ以上に自分にプラスになることがたくさんありました。もし留学に行った際には外国人の友達をたくさん作ると留学はより充実しますし、自分にとっても良い機会になると思います。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

まず TOEIC の点数を上げたいです。将来どのような職に就きたいかまだ明確には決まっていません。しかし将来英語を使いたいという目標があり、TOEIC の点数を持っていると役立つことが多いので今の目標は点数を上げることです。

V. 写真



これは留学中ニューヨークに旅行した時の写真です。



留学中に誕生日を迎えたのでホストファミリーと友人が祝ってくれました

M. N.（英語英文学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は高校の時 1 か月だけ留学をし、それがきっかけで英語が好きになり、もっと学んでみたい、新しい世界をたくさんみたいと思ったのがきっかけです。最初は協定留学を目指していたのですが、英語力が基準を満たさなかったため、このセメスター語学留学に切り替えました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学前は高校の時に使っていた英単語帳を見直し、YouTube などネイティブの会話を聞いたりしていました。

③ 現地到着後

ホストマザーが空港まで迎えに来てくれました。私のホストファミリーの家は空港から 10 分ぐらいのところにあり、大学までは 40 分ぐらいかかりました。初日のオリエンテーションでは大学内紹介や授業、そしてテストについてのお話がありました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

大学内は広くて最初の頃はよく迷子になりました。ジムや UC (University Centre) の中には様々なフードショップなどがありました。たまにそこでお昼ご飯を買っていました。

◆ 授業内容、課題、試験

クラスは 300、400、500、600、700 まであり私は 400 レベルからのスタートでした。クラスによって授業内容は様々ですが、主に reading、speaking、grammar、writing などがありました。また pronunciation や idiom などもありました。毎月テストがあり 60% 以上あれば次のレベルに上がれます。最後の 600 レベルはなかなかハードで特に speaking の授業がしんどかったです。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

毎週スポーツのアクティビティがあり、週末は毎週お出かけするアクティビティがありました。ほとんどが無料で参加できるので参加すべきです。Language Exchange という英語と日本語で会話する活動も毎週ありました。時間に余裕がある時に参加しました。またコンボクラブという英語で会話する活動も毎週ありました。

⑥ 現地での住まいについて

私のホストファミリーはマザー、ファザー、子供 3 人、犬、猫と凄く賑やかなファミリーでした。子供は人なつこくほぼ毎日遊んでいました。シャワーの制限もなく自由だったので自分のしたいことをしたいようにしていました。朝ごはんはセルフサービスでシリアルやパン、フルーツ、ヨーグルトなどを食べ、お昼ご飯は昨日の残り物や自分で作ったり学校で買ったりしました。夜ご飯はマザーが作ってくれました。ファザーがメキシコの人だった

のでメキシコ料理も作ってくれました。大学まではバス 1 本で 40 分ぐらいかかりました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

長期休暇は 2 回あり、1 回目はトロントに行きました。2 回目は念願だったニューヨークに行きました。アメリカ独立記念日の時にニューヨークに行ったので花火を観ることができ、一生忘れられない旅行でした。また 8 月に 3 連休があったのでアメリカのクリーブランドに行きました。高校の時の短期留学で出会ったホストファミリーと 4 年ぶりに再会できました。旅行が好きな私は旅行に行きまくり幸せな休暇でした。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

ホストファミリーが色々な場所に連れて行ってくれて、特にパビリオンが印象深いです。移民国家のカナダならではの世界各国のショーを見ながらご飯を食べるというもので、私はギリシャ、メキシコ、カナダの「ファーストネーション」に行きました。世界の料理を食べ、本当にその場所にいるような気分になりました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

最初の頃ホストファミリーに質問されても Yes、No でしか返事ができず、なんで？ どうして？ などの返答ができずにいた自分が嫌でした。これは日本人の特徴ですが、留学を通して自分の意見を素直に言えるようになりました。また異文化の違いでマザーと喧嘩しそうになり、その時自分の思っていることをあまり英語で表現できず、日本語だったら言えるのにといい苦しかったです。

③ 文化・習慣などの違いで驚いたこと

11 歳のシスターの小学校の授業でプレゼンテーションが頻繁にあり、よく練習していました。日本では小学生の頃はあまりその機会がなく授業方法も違うんだと思いました。また洗濯は週に 1 回だけなのも驚きました。日本人は毎日シャワーを浴びますが、ホストファミリーは 3 日に 1 回のペースでした。

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必須です。4 月 5 月はまだ寒いのでヒートテックを多めに持っていくことをおすすめします。SIM カードは日本にいるうちにネットで買って契約してから渡航することをお勧めします。現地でも契約はできますが、ショップに行かないといけなし、すぐに使えないので契約しといた方がいいです。Lucky Mobile という SIM で月 4 ギガで \$ 40 でした。現地で何があるかわからないので持っていった常備薬やのど飴などが役立ちました。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

リスニング力が伸びたと思います。TOEIC も聞き取りやすくなりました。留学後の TOEIC は留学前より 80 点ほど上がりました。洋画も聞き取れるようになりました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学するというのは自分の人生の中の大きな決断の一つですが、留学は人を何倍も成長させてくれて、見方や考え方も変えてくれます。学生の中の良い機会なので恐れず、留学をしたいのならば挑戦すべきだと思います。私はこの留学は本当に実りある留学だったと感じています。絶対に後悔しないので是非参加してみてください。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

この留学を通して英語がより好きになりました。私の将来の夢は旅行会社に就職することなので資格をたくさんとり、TOEIC の点数もあげたいです。また英検準 1 級にも合格できるよう勉強を頑張りたいです。また国際課のイベントにも時間があれば積極的に頑張りたいと思います。

V. 写真



これはファザーの誕生日お祝いの時の写真です。日本食レストランに連れて行ってもらいました。おばあさんとおじさんも来てくれました。カナダでの誕生日会はとても盛大でした。



これはアメリカのクリーブランドに行った時に友達と撮った写真です。インスタ映えを目指してたくさん写真を撮り、とても楽しかったです。

K. O.（英語英文学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

生の英語に触れてみたかったということと、自分自身の視野を広げたいと思っていました。それから、将来は英語を使った仕事に就きたいということもあり、英語力を伸ばしたくて、このセメスター留学という制度で留学をしました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学前の英語学習としては、ホームステイでの日常会話や単語帳を読んでいました。また、洋画を観たりして耳を英語に慣らすようにしていました。

それから、現地で使うクレジットカードやデビットカードを作りに行きました。発行までに期間を要したので、留学 1 か月前には銀行に行き手続きを開始することをお勧めします。また、カナダに 5 か月留学する際、eTA が必要になってきます。これは、ビザの代わりのようなもので、オンラインで簡単に取得することができます。

③ 現地到着後

ホストファミリーが家族全員で空港まで迎えに来てくれました。渡航する前に、メールでお互いの顔写真をシェアしていたのですぐに認識できました。出迎えてくれた時に、ウィニペグの可愛いぬいぐるみ子供達からもらい、一気に緊張が解けました。現地に到着してから学校が始まるまで 1 日オフがあったので、ホストファミリーが学校内や街の中を車で案内してくれました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

まず、交通バスが普通に通っているほど、構内がとても広いです。初めは常に誰かに道を教えてもらっていました。その分、大きな図書館やフリースペース、郵便局や薬局などもありとても便利でした。

◆ 授業内容、課題、試験

授業は昼までで終わる日が週に 2～3 回あり月末にテストがありました。テストをクリアすると、2 か月に 1 回クラスのレベルを上げることができます。テストはパソコンで実施されていました。先生方も優しく、宿題もたまに出ましたが、そこまで苦勞することはなかったです。しかし、プレゼンテーションの準備に忙しかったことを覚えています。クラスの編成としては、ほとんどが日本人で少しがっかりしました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

毎週木曜日に、Language Exchange というクラブがあり、予定のない日は参加していました。このクラブでは、日本人とネイティブの英語話者が、日本語 45 分間、英語 45 分間会話をするので、お互いに母国語とは違う言語を喋る機会を作るといったコンセプトにしているようです。語学学校に通っているだけでは作ることのできないネイティブの友

達を作ることができたのでとても良い機会だったなと思います。

⑥ 現地での住まいについて

私のホームステイ先の家族構成は、ファザー、マザー、ブラザー（11 歳）、シスター（6 歳）でした。みんなとても温かく初日から安心して暮らすことができました。ファザーもマザーも共働きでしたが、私との時間も沢山作ってくれました。休日にはキャンプや映画を観に連れて行ってくれたりして、ホストファミリーと楽しい生活を送ることができました。朝ご飯は基本的にセルフで、お昼ご飯は毎日お弁当を作ってくれました。夜ご飯は家族みんなで揃って食べるが多かったです。また、学校から帰るといつも玄関で 6 歳のシスターが待っていてくれて、初めの方は家に帰ることが楽しみでした。家にいる時はいつもシスターと遊んでいました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

長期休暇中は、同女のメンバーで、カナダのトロントとアメリカのニューヨークへ旅行しました。トロントでは世界三大瀑布のうちの一つであるナイアガラの滝を見て来ました。近くまで行くととても迫力があり、自然の偉大さに感動しました。また、ニューヨークでは、カナダとは一味違った街並みや人々を沢山見かけることができ、とても興味深いものがありました。それから、たくさんの観光地を回ることができたのでとても満足しています。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

ホストファミリーと過ごした日々です。どこかへ行くときは必ず、一緒に行こうよ！などと誘ってくれました。また、家でテレビを観たり映画を観て会話をすることがとても幸せな時間でした。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

ホストシスターとの遊びは楽しかったのですが、時々苦勞しました。顔面に脱いだ靴下を投げつけてきたり、スライムを髪の毛につけられたりとなかなかやんちゃで、疲れることがよくありました。しかし、嫌な理由とやめてよ、ということを伝えるとしっかりと言うことを聞いてくれました。言葉にして伝えることは本当に大事だと気が付きました。

③ 文化・習慣などの違いで驚いたこと

宗教に対する熱意に驚きました。私がステイさせてもらった家はクリスチャンで毎週日曜日には教会に通っていました。日本ではあまり宗教に関心を持たない人が多いので、初めはこの熱心さに驚きました。

III. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役に立ったもの

パソコンはプレゼンテーションのパワーポイントを作ったりすることに使いました。ま

た、サトウのごはんとふりかけは現地で大活躍しました。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

リスニング力が向上したと思います。実際に留学後の TOEIC にも表れていました。また、帰国してから洋楽をよく聴くようになりました。以前は全く歌詞がわからなかったのですが、留学後は以前より聴き取れるようになりました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

この留学を通してたくさんのことを学びました。それは英語だけでなく、異文化についてや、日本という国の素晴らしさなど様々なことに気がつくことができました。留学中は決して楽しいことだけでなく、辛いことも沢山あります。けれども、留学後には必ず行ってよかったと思える日が来ると思います。5 か月は本当に短い期間なので、後悔のないよう 1 日 1 日を大切に過ごしてください。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

この留学で得たものを失うことがないように英語学習に励みたいと思います。将来は英語を使った仕事に就きたいのですが、このままの英語力ではまだまだ使い物にならないので精進して努力し続けたいです。

V. 写真



これは 4 月に撮影した写真です。ウィニペグではまだマイナスの世界で雪も残っていました。6 月ごろまで本当に寒かったです。一方で夏はとても過ごしやすい気候でした。それから、この地域は雲のない日がほとんどで、本当に空が綺麗でした。わたしは見ることができなかったのですが、秋になるとオーロラが家のベランダから見られることが年に 2、3 回あるそうです。